

【夏の“穴場”観光スポット】

国道121号沿い、下郷町の湯野上温泉からほど近いところに、「中山風穴公園」があります。風穴（ふうけつ）とは地下から冷風が吹き出す天然の洞窟や穴のことを指します。

このあたり一帯の山は、角柱状に亀裂（節理）の入った非常に崩れやすい岩石でできており、中山の山肌が崩れ落ちて岩屑が溜まった崖錘部分にあるのが中山風穴。積もった岩と岩の間にはたくさんの隙間があるので、冬の間はこの隙間から冷たい空気が地中深くまで潜って崖錘を冷やし、春や夏になると地中から冷たい空気が吹き出すという仕組みのようです。

夏でも気温が低く、“オオタカネバラ”等の実際の標高よりも涼しい場所に咲く高山植物が群生しているため、風穴と共に国の天然記念物「中山風穴地特殊植物群落」に指定されています。（見頃は6月下旬頃）。

公園に入ると、風穴体感施設のあずまやがあります。この場所は昭和初期まで野菜等を貯蔵する石室として使われていました。あずまやの中は真夏でも気温はなんと3℃ほど。外気温が30℃ほどの日、石室の中に沈んでいる冷気と外側の熱い空気が触れる所では、温度差により霧が発生していました。

夏が終わってしまう前に、不思議な涼しさを感じるために訪れてはいかがでしょうか？

#南会津建設#南会津#会津#福島#東北#建設#土木#道路#下郷町#福島県#風穴#中山風穴#穴場#湯野上温泉#涼#体感#高山植物#花#貯蔵
#minamiaizu#fukushima#japan#civil_engineering#construction

